

5 月度支部役員会議事録

日本建築学会近畿支部

期 日：平成28年5月25日（水） 12:30～14:00

会 場：大阪科学技術センター4階 401号室

出席者 門内支部長

常 議 員 大 淵、角 田、小 林、竹 山、塚 越、梶 井、安 野
大 谷、真 田、遠 山、富 島、平 川、藤 井
支部監事 上 田、服 部
事 務 局 児 玉

【審議事項】

(1) 前回議事録確認の件

- 事務局より役員各位へ事前に送付された議事録(案)の内容は、確認のうえ承認された。

(2) 5月度理事会報告の件

- 5月11日(水)に開催された理事会については、支部長より以下の報告が行われた。
当支部に関係する主な審議事項および報告事項としては、「入会申込者について」、「通常総会に付議する議案について」、「中長期計画分担について」、「平成28年(2016年)熊本地震」について、「2016年度大会の発表題数について」、「各理事活動報告」などであった。

(3) 4月度本部学術推進委員会報告

- 4月21日(木)に開催された本部学術推進委員会の報告については、真田靖士常議員(当支部代表本部学術推進委員)から報告が行われた。
主な報告としては、「2017年度大会開催会場・期間」、「2015年度鹿島学術振興財団研究助成採択結果報告」、「第55回(2016年度)竹中育英会研究助成応募状況」、「2016年度大会(7)緊急報告会：台湾・美濃地震災害調査報告会」、「(8)緊急報告会：2016年熊本地震災害調査報告会」、「規準・仕様書等のあり方検討タスクフォース報告」、「北海道支部から、CiNiiの廃止にともなう検討要請」などであった。

(4) 支部報告 1. 事業報告 2. 会計報告

- 事務局より報告があり、承認された。

(5) 委託調査の件

- 下記の委託調査研究依頼については受諾することが承認された。
- 平成26年度の本部理事会で決められた方針に従い、当支部で受託した場合は、調査研究ごとに当支部事業担当の役員が加わり委員会を設け、報告書の内容と予算の執行状況をチェック

している。特に、報告書の考察は、客観的な事実をもとに公平な立場で書かれていることを確認する。

継続研究である『アンテナ支持柱風洞実験2016』に関しては、下記の各役員が担当することが承認された。

- 常置研究部会で受託した場合は、当該の研究部会で委員会を組織して調査研究をすすめ、報告書の内容と予算の執行状況を役員会に報告することが確認された。

①銅スラグ細骨材の建築用コンクリートへの適用性に関する研究

- 委託者 住友金属鉱山株式会社 大阪支社
- 協力者 兵庫県中央生コンクリート協同組合連合会
- 担当者 日本建築学会近畿支部材料・施工部会
中村 成春 君（当支部材料・施工部会 主査）
山崎 順二 君（当支部材料・施工部会 副主査）
岩清水 隆 君（当支部材料・施工部会 幹事）
他に研究部会の委員が加わる。
- 期間 契約締結日～平成30年 3月31日
- 研究費 5,400,000円（消費税込み）

②『アンテナ支持柱風洞実験2016』（継続研究）

- 委託者 那須電機鉄工 株式会社
- 担当者 谷口 徹郎 常議員（研究責任者、大阪市立大学大学院 教授）
遠山 裕史 常議員（奥村組 課長）
藤井 彰人 常議員（大林組 部長）
- 期間 契約締結日～平成29年3月31日
- 研究費 ￥648,000円（消費税込み）

(6) 当支部創立70周年事業について

- 当支部創立60周年記念事業に深く関係した門内支部長から、当時の活動全般について説明があった。
- 平成29年11月29日に70周年を迎えるにあたっては、支部長より当支部役員および関係する支部会員の英知を結集して、事業の企画を立ち上げて実施していく意向が示された。

(7) 協賛依頼の件

- 協賛名義の借用依頼があった次の2件については承認した。

①宅地地盤の品質評価に関する技術講習会

- 期 日 7月12日
- 会 場 エル・おおさか（大阪府立労働センター）
- 主 催 （公社）地盤工学会関西支部

②Kansai Geo-Symposium 2016 ー地下水地盤環境・防災・計測技術に関するシンポジウム

- 期 日 11月18日
- 会 場 大阪市立大学 学術情報総合センター
- 主 催 （公社）地盤工学会関西支部
地下水地盤環境に関する研究協議会

(8) 後援名義借用依頼の件

- 後援名義の借用依頼があった次の1件については承認した。
- 第4回K I P Aモニターメッセ
 - 期 日 6月18日
 - 会 場 株式会社遠藤照明大阪ショールーム
 - 主 催 (一社)関西インテリアプランナー協会

(9) 大阪府建築厚生年金基金解散後の後継制度加入について

- 昭和44年6月の設立当初から加入している厚生年金基金の解散に伴う後継制度について、事務局からこの度の経緯と後継制度の内容に関して説明があった。
- 本部事務局においても現在の年金基金から移行して設けられる後継制度に加入するので、支部においても後継制度に加入することが認められた。
- 加入内容は、本部と支部の事務局で相談して決めるよう席上にて指示があった。

【事務報告】本部と相談した結果、従前の内容に沿って継続することで児玉事務長より基金に後継制度加入の同意書を提出した。

(10) その他

① 2016年度大会PD男女共同参画講演依頼について

- 8月25日に本会大会(九州)でPDとして開催される、「建築分野の持続と躍進のカギを握る男女共同参画(案)～大学と学会における最新の取り組み～」に、当支部の会員1名をパネリストとして推薦するよう、本部から支部長に依頼があった。
- 人選については、支部長に一任することとした。

② 「仮設建築」に関する設計競技について

- 支部主催事業の提案と実施の依頼について、支部長へ相談があったことが報告された。
- 支部長からは相談者に対し、木質材料の普及に対する取り組みについては理解しづらい点が多かったため、事業企画のあり方について検討し直すよう指示された。

【報告事項】

(1) 当支部主催行事の終了に伴う報告

- 「ロームシアター京都」見学会・シンポジウム(5月10日(火)に開催)
 - 支部長からこの度の事業の全体について報告が行われ、当日の資料については、出席した役員に配布された。
 - 京都新聞をはじめ業界新聞で取り上げられた開催に関する記事も資料として配布された。

(2) 「まちをつくろう2016」打合せ会の報告

- 当支部を代表して打合せ会に出席している遠山常議員より、5月12日に開催された打合せ会の報告とともに、今回は本会創立130周年の当支部事業でもあるので、記念行事の内容について相談があった。

- 記念事業としては、本会の研究者から環境について子供たちにお話をさせていただくことを打合せ会に提案することとした。

(3) 宝塚市長宛て「宝塚ホテル本館」建物保存活用に関する要望書提出の報告

提出日時：5月11日(水)10時～(記者発表. 11時～)

訪問者：笠原一人氏(当支部近代建築部会主査)、事務局随行

対応者：経営企画部および都市整備部より5名

- 事務局から上記のとおり提出されたことが報告された。

(4) 通常総会および付随行事の進行内容と各役員の役割分担に関する確認

- 本日、16時から開催される、「通常総会」、「本会作品選奨受賞記念講演会」、「設計競技入選者表彰式、新人賞(作品)表彰式」、「長期法人・賛助会員感謝状贈呈式および懇親会」のスケジュール確認と、出席役員による役割分担の最終説明が事務局から述べられた。

以上